~AMA-IYA~
甘くイヤがる
彼女の痴情
Episode2
漫画36ページ+ミニストーリー付き
イラストを収録
※ヒロインの淫毛
あり/なしの
2バージョンを収録

淫乱痴女に堕ちた
美しい女上司と
部下の青年
禁欲期間に溜め
こんだ性欲を吐き
出し合う二人
マゾブタ性癖が暴走した
彼女は、熱く熟れた肉穴
すべてに濃厚なナマ射精を
懇願する
いつしか卑猥・淫乱・
変態であることが、
かけがえのない絆に
なっていくのだった。

チチ…
きゅっ
――よし
しゅる
すっ
これで…行こっかな♥
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
トロォ…ッ♥
むわ…
トロ…
むわ…
トロ…

やだ すごい
カタログの写真より
ずっとスケベ…
ドキ♥
ぞくん…っ
ぞくん…っ
は♥
あ♥
ドキ♥
ドキ♥
お尻の穴まで
丸見え…♥
彼のチンポのニオイが
しみ込んだこの部屋
私の中に眠っていた
淫乱な血を熱く
させていく
むわ…
でも最近は決算の
繁忙期でセックスは
お預け状態――
溜まり続ける欲求の
はけ口を求めて
こんな事を始めてしまった
は♥
むわ…
むわ…
とうとう こんなの
着て会社に行くのね
…私
バレたら
どうしよう…
ヒクッ♥
ヒクッ
こんなの履いてるって
知ったら さすかのナス
くんもひいちゃうかな
それとも我慢できなくて
おっきなチンポ…
入れてくれるかな♥
トロ…
トロ…

あの夜からメスブタセックスを重ねて
たった一か月でこんな変態になってしまった
互いの変態性癖がどんどん覚醒してもう…止まらない

でも会社では二人ともいつも通りに過ごせている
むしろナスくんは以前よりもさらに真摯に仕事に取り組んでいる
そういう実直な性格にもますます惹かれていく
だからこそ会社が終わってから——

八潮さん…っ 八潮さんのエロマンコのニオイ…っ！
汗ばんだケツ穴のニオイ…最高ですっ！
あぁあ ま まだ…お風呂に入ってから…
ニオイだめぇ…っ♥ずっとマンコ蒸れてたんだからぁっ！
ぶちゅ
みみっ！
ぢゅるっ
ぶちゅ！
ぢゅるっ
ビクッ！
ビクッ！
ビクンッ！

僕も会社でカウパー漏れまくってました
ヌグッ
ヌグッ
どぢゅ
どぢゅ
ハッ
ハッ
あぁ…チンポお…くさいチンポぉ…っ♥
もう限界です そのエロマンコに入れさせてもらえますか
ズルッ!
えうッ
入れて… メスマンコにチンポ交尾してぇ!!
おっ♥
ガクガクッ
八潮さん すっかり卑猥な言葉 好きになってますね
あぁ
あぁあんっ♥ 貴方が言わせてるんでしょ…っ
イヤがっても…あぁっ♥ 特訓だって…いつも…いつも…っ!
びくん!
びくん!
あぁん♥
言わないと…キンタマ精液マンコ穴にぶちまけてイカせてくれないからぁ…っ!
ガクガク
あッ♥
どぢゅっ!
どぢゅんっ♥
どぢゅん♥
すみません イヤがるフリする八潮さんが可愛いから つい
ち…違…ぁあっ♥ フリなんかじゃ…
あひっ! いいっ! もっと奥まで チンポぉおっ♥
そう いつもこう イヤがってみても いつの間にか…
ズリュッ!
ズリュッ!
ズリュリュッ!!

休日でも
やっ…
あぁっ
ナスくんっ
だめぇ
あぁっ
鏡につながってる
ところ丸見えですよ
あぁあ
言わないでぇ…
ぐちゅ!
ぐちゅ!
とんでもない
水着を着せられて
ビクッ!ビクン!
ニ…
こんなの
ヘンタイ
ヘンタイよ…
似合ってますよ
これで泳ぎに
いきませんか
らめ…だめぇ…
あぁあ…♥
ずちゅっ!
ぐちゅっ!
ついには
こんなコトまで
見てっ
見てぇ
ヘンタイ
エロ
イクッ♥
イクッ♥
今の課長
会社の人に見せて
自慢したいですよ
やだぁあ
こんな姿見せるの♥
貴方だけよ
ナス君に見て
ほしいのぉ…っ♥
ドッ!
ドッドッ!
ドッ!
ホントは好き
なんですよね？
ど変態セックス…
大好きですよね？
ビクン
ビクン
ズブッ!
ズブッ!
ドッ
ドッ!
ちんぽっ
ちんぽぉっ
ちが…あぁあっ
あはあぁあぁ…♥
わたヒ…は…キミが
好きだから
あぁあ こんな
コト…変態セックス
なんてぇ…っ♥
もっと♥
もっとぉっ
結局 私はイヤだと
言い切れず
むしろ…彼に変え
られていくことが
心を丸裸にされて
しまうことが——

好きよっ　とっくの昔から…大好きぃっ♥
変態だものっ　私…変態スケベ女だからっ♥
見てっ見てぇえっ♥
出社前にクソ穴オナニーしてるのっ！
全部丸出しで感じるのっ♥
ぢちゅッ
ぢちゅッ
あっ
ぶッ
ぶぴっ
見てっ
見てっ
ぢゅくッ
ぢゅくッ
ガク
ガク
どぼっ
どぼっ
ぶッ
ぶぴっ
ぶりゅ
ぬぢゅ
ぬぢゅ
どぢゃ
どぢゃ
イクッ！
イクうッ！
あぁぁあ——ッ！
ビクビクビクッッ！
ポタ…
ポタ…
ポタ…
あぁ…怖い
このまま出社したら
本当に…私
どうなってしまうの…
城トークルプランニング
銀行

こうなりました。
ぼぉ〜〜
ちんぽ♡〜〜
ぺち
ぺち
ぺち
ちんぽ♡〜〜
ちんぽ♡〜〜
ナス君何やったの
いいえ特には…
八潮さん
八潮さ…課長！
えっ!?あっハイッ！
あの今日はどうしたんですか？体調不良ですか？
ううん大丈夫ごめんなさい
今朝の変態オナニーのせいだなんて言えないけどそもそも原因の半分はナス君なんだし『どうしたんですか』っていうのはどうかしら
オイコラメスブタァ！
目ぇ開けたまま寝てんじゃねーぞ!!
どちら様…？
俺だよ！背戸口だよ！
顔のカリが無いから分かんなかったわ
どーしたの？
お前らにボコられて凹んだんだよ！
あとカリって言うな！エラって言え!!
セクハラよっ!!
It's

それはそうと退院したらうちの課のバカ女が異動してやがった！
おかげで決算時期に事務処理を俺がやらなきゃいけねえ！
普通　人事異動は決算終わって半期ごとにするだろ！
バカなのか!?
バン！
ティイイ!?
あー　あの子ねー
確か同じ課の人と今度結婚するのよね
異動はそれを考慮しての事って話よ
市川
バカモノーッ!!
すみません…
旦那になる人が上司とか得意先に怒られてるのを目にしたら
女性のほうが不安になるだろう　っていうお偉方の『配慮』ってやつよ
ハラハラ
平山
上の人間も叱るべきところで遠慮してしまうこともあるし
周囲も変に気を遣うかもしれないし
でもいまさら…って感じもするよね
今までは堂々と叱り飛ばしてたわけじゃん？
でも恋人と違って結婚相手となると…今までと違った物の見方になる…って言い分も分かるかも
そっか　難しい判断よね～
まあ理由の中には『結婚退職するなら別の部署に行ってから辞めてくれ』ってトコもあるかもね
上司は部下に辞められると管理職の査定に響くのよ
市川

……っ
ブルブル…
付き合ってたのか
アイツら…
全然
知らなかったぜ…
どーりでアイツに
『エアロビやってんの？
じゃあ 今度の忘年会
レオタードで踊れよ』
『イヤだ？ その身体
見せつけたいから
人前でエロタイツ着て
踊ってんだろぉ？』
『ビッチのくせに清純
ぶってんじゃねえよ』
ったらよぉ！
HAHA HAHA HAHA
とんだピエロさ!!
わらえよ
ヤレヤレだぜ!!
いきなりあの男が
ぶん殴ってきやがった
んだよな！
ありゃ 自分専用の
マンコだったから、
正義の味方ヅラした
ってわけかよ！
アイツら
最低だな！
ゆるさないぞ
にげろ!
ガッ!!
オマエがな！
『女のくせに』
だけでもセクハラなのに
『一人だけさっさと
結婚するエロブタビッチ
マンコのくせに』
たぁ どーいう了見だ
コラァ！
そこまで
言ってな…
つーか私の
一発芸（ダイオウイカ）じゃ
不満なわけ!?
見ろコラー!
ドガドガ
ヘッ
キャアア
あああ
ピーポー
ピーポー
ルプランニング
2F
やっと繁忙期
ひと段落したわね
はい
お疲れ様でした

ねえ…
ナスくん
はい
今日
話してたこと…
私たちは直接の
上司・部下だから
彼らのようなケース
じゃないけど
もし私がナスくんを
怒ったら…一緒に仕事
やりづらい？
いえ　全然
実際　今まで何度も
ミスして叱られて
きましたし
野球部の頃も叱られて
ばかりでしたけど
監督や先輩は
尊敬してましたよ
で　でも…こうして付き
合ってからじゃ感じ方も
違うんじゃないかな…って
毎日　貴方のチンポに
おマンコ濡らしてる女に
叱られて…嫌じゃない？
ふるん♥
くにゅ♥くにゅ♥
ふるん♥
ふるん♥
あんっ
はいっ
ピンポーン
あんっ
あぁっ♥
くにゅ♥
くにゅ♥
あっ
あっ
ぐにゅ♥
ぐにゅ♥
フルル…ッ

あぃ
叱り方が理に適ってますし人格まで否定しないし変な言い方ですけど叱られるたび尊敬度が上がってます
ぐぃ…っ
むぁ…
むぁ…
やっ
むしろ僕のほうが心配してましたいつもミスばかりするダメ男のチンポなんて見るのも嫌だって思われないか…
あんっ
お 思うわけ…ないわよぉ…♥
あぁあ…チンポ…見たい…欲しいいっ！
あぁっ
あぁっ
ぶちゅっ
ぶちゅっ
こんな下着つけてたなんて本当に我慢限界だったんですねスーツの下 乳首もクリトリスも勃起させて
ガクガクッ
ひぁっ
んあぁっ！そ そうよ…メスマンコのニオイ…周りにばれちゃわないかドキドキしてたのっ♥
ぢゅく
ぢゅく
んぁっ
あっ
フル…
フル…っ
でも——見てみたい気はします
ぬぢぁあ…っ

一度本気で叱られたいというか…
いつもの指導的な叱責ではなく激怒してる課長を見たいです
想像つかないんで
ミスしてない人に激怒するなんて無理よ
んっ♡
んくっ♡
ちゅぷっ♡
ちゅぷっ♡
ちゅぷっ♡
ちゅくっ♡
ちゅぷっ♡
ちゅくっ♡
それが『特訓』でもですか？
…ふふ　そうね
はい♡
はい♡
どうしてもって言うなら貴方が怒らせてみてよ♥
クスッ♥
ギンッ
言っとくけど　スケベなこと言わせるとか…
もうその程度のセクハラじゃ怒らないからね♪
う・・・

えっと
それじゃあ…
実は繁忙期の間
ろくにオナニーもせずに
ザーメンためまくって
チンカスもべっとべとの
まま過ごしてたんです
よ…
ビクン! ビクン!
むわ
むわ
むわ
へ?
ドッキン
決算が終わったら
思いっきり課長の
口の中につっこんで
思う存分チンカスを
こそぎとって
ズボッ! ズボッ!
ズボッ!
ズボッ
んごっ
おごっ
おぇ
んぐっ
黄ばんでどろどろの
塊になった精液を
排泄してやろうと
思ってたんです
ブズッ
んぇズッ
おぇズッ
う うそ…
いくらなんでも
洗ってないなんて…
ぬらぁ…!!

むわぁあ
あぁあ
ほんとです
ほら
あ…あ…
カ〜ン
でも こんな汚いものを突っ込まれるなんて
文字通り肉便器ですし
さすがの課長も怒りますよね？
え…あ…それは
ドクン
キュン
怒らない…怒るどころか…あぁ…
くさい…くさいちんぽ舐めたい…
むわ
むわ…
突っ込まれて口の中めちゃくちゃに犯されて排泄されたい…飲みたい…チンポ汁ほしいい…っ♥
ドクッ
むわぁ…っ
あれ この程度じゃ怒らないんですか
お 怒るわけないでしょこんなの 全然…
あ…♡
あ…♡
だめ ここで欲しがっちゃまたいつもどおりちょっとは年上らしいとこ見せなくちゃ…
あ♡
ドッ

だ…だいたい それって
ミスしたわけでも
悪意があるわけでも
ないじゃない
はぅ
私以外の人がニオイに
気づいて
ナスくんが悪く言われる
かもしれないから
はぅ
じわぁ あぁ…っ♥
その…チンカス溜め
すぎるのは…ちょっと
問題かも…って…
思う…けど…
はぅ
なるほど
その通りですね
じゃぁ
洗ってきますね♥
シャワー
おかりします
あ…っ
ドッ ドッ
ドッ ドッ
あ…
だ…
ヤ ヤメ ヤメ!!
オ オ
ダメ!
絶対ダメ!!
こっ ここまで
じらしといて 洗う
なんて信じられ
ないっ!
ぼぉ
ぼぉ
ぼぉ
ぼぉ
!?
!?
!?
かっ 課長?
ぐぼぉっ!?

コレ…今までで一番ひどいセクハラよっ
確かに『怒らせてみて』って言ったけど　あんなチンポ見せておいて洗うなんて…
おろおろ
ごすっ
ごすっ
ごすっ
私も忙しい間ずっと我慢してたの知ってるくせに…
すみません　すみません　また調子にのりすぎました
ばか…
そんなことしたら私だってセクハラ言うんだから…
え
ぺち…
『男のくせに』
男のくせにチンポの使い方　間違えないで
オモチャにしないで…
悲しい気持ちでチンポをしゃぶりたくない
だから怒ったの…
す…っ
ぺにゅっ
ぺにゅっ
きゅ…っ

八潮さん…僕が間違っていましたもうチンポをオモチャになんてしません
ナス君…
改めて真面目にお願いしますこのチンポで八潮さんをめちゃめちゃに犯させてください
…うんこちらこそお願いします
ぴと…
むわ…
ビクン!
ぎゅっ
カチャ
ちゃぷ
ちゃく
にちゃ
んくっ
ん…んぅ…♥あぁ…すごいニオイ…♥
んちゅっ
少し子供っぽいところがあるけど 素直に相手と向き合える実直な人
本当に可愛いのに大人っぽい…
私なんかよりもずっと――
このニオイすべてが愛しい 少しだって逃がしたくない
この手の中 口の中 身体の中に…全部…欲しい
んっ…んちゅ…♥
んぐっ
好きなだけ排泄して欲しいの…っ
んぅう…っ♥
ぶびっ

じ　実は…八潮さんと出会ってからなんです
一日中勃起して…
ニオイも濃くなって…
私の…せい？
もし異動で離れたら絶対こんなに臭くならない…
勃ちもしないですっ！
私も…私も…っ
そんな心を溶かすこと言われたら…離れられるわけない…っ
美味しいの♥
あなたのチンポの全てが好き♥
私だけの…くっさいチンポぉ…っ♥
くぁ…っ　もう我慢できない！
うぐううっ!?

ガクガク
すみませんっ すみませんっ！
ひ 久しぶりだから… 腰が止まらない…っ！
ハッ！ ハッ！
ガク
ぐぽっ
ずぼっ
んごっ んぶうっ！
んぐううっ！
止めないで… やめないでっ♥ 激しく… 使ってぇっ♥
ずぼっ
ゴボッ！
ゴボッ！
んぉおっ！
タパン！
タパン！
あぁあ キンタマの音 …ニオイ 感触… 気持ち…いぃいっ♥
どぢゅん！
んごっ♥ おぶううっ！ んおっ♥ おぼぉっ！
喉の奥に…あぁあ… チンポ当たってる ゴリゴリって… 激しいぃっ！
どぢゅん！
ごりゅっ
ごりゅっ
八潮さんっ もう…出る…っ
ビクビクッ！
ぐぽっ！
ぐぽっ
んちゅるうっ んぅうっ！
きて…溜りまくった チンポ袋のせーえきぃいっ 喉マンコに…全部… 全部ぅうっ♥
ぐぽっ！
んぉおっ！
ぐぽっ！

くぁぁぁっ！
んぐっ！
んぼっ！
ビクビク
ビクーウウッ!!
ううんんうう
ううーーーっ♥♥♥
ゴクッ!
ゴボッ!!
ごくんっ
ごくんっ
ビクン♥
ビクン♥
おほぉううっ！
きた　きた…
すごいいいっ♥
今までで一番…濃くて…
臭くて　くさくて
くひゃくて…っ♥
ドピュ
ドピュ
んぐっ！
んぐうぅうっ！
おいヒいい
いいっっ♥
ドピュ
ドピュ

んぐ…っ♥
ゴク…
ゴク…
んう♥
溶ける…チンポで溶かされるぅ…
また…私…淫乱に…
もっと変態になっちゃう…
ドポッ
ドポッ
ドポッ
ドポッ
私の中に溜まってた性欲の塊が
熱い精液に溶かされて
ドボ…
ドボ…
ドボ…
ドボ…
んっ…んうっ♥
ドロ…
ドロ…
んくっ…
んうっ…ごぶっ♥
お…お…はぁ…♥
混ざり合って…
気化して…
ムワ…
あぁあ…身体の中…
アタマの中…二人の
ニオイでいっぱい…
あふれて
きちゃったぁぁ…♥
トクン…
トクン…
んく…♥
んく…♥
ぁ…あぁ…
ナスく…ん…
ヒんぽ…すきぃ…♥
くひゃいのらいすき…ぃ♥
んぐ…♥
んぐ…♥
トク…
トク…
ムワ…
ムワ…

八潮さん…
イッたんですね
すごいニオイです
甘くて　濃くて
ずっと嗅いで
いたいような…
ゴクッ
ゴクッ
ゴクッ
ズン!
ズン!
ズン!
ズン!
ズン!
ズン!
ん…♥
んく…♥
んぢゅ…　ん…♥
あ…ぁ…わたヒも…
ずっと…♥
さっきまでの
激しさとは対照的な
優しいチンポ愛撫
んっ…
んく…ん…♥
ズル
ぢゅぷ♥
ぢゅぷ♥
何分もかけて口の中に
まんべんなくチンカス
ザーメンを塗り込んでいく
ぷはぁ…ぁ…♥
ドロォ…
その余韻に
私はイキ続けていた
あぁ…やら…
もっと…
欲しいのぉ…♥
トクン…
トクン…
トクン…
ボタ
ボタ
ボタ
もっと…中にぃ…♥

腰 抜けちゃいましたね
ちょっと休みましょう
ぎし…っ
あ…大丈夫よ 大丈夫だから… その…
トサッ

安心してください まだ終わりじゃないですから 少し落ち着きましょう
す…っ
むわ…
あ…
むわ…
むわ…

ぎゅむ…っ
ん…ぅ…ん…❤
ん…
ゆっくり吸って… 息を吐いて… 大丈夫 落ち着くまで ずっとこうしていますから
う…ん…❤
ウソ… 私 こんなことされて 本当に落ち着いてる…？
んく…
ん…
ん…
あぁ…私もうこの人に 身も心も全部 染められちゃったんだ…

でも――
でもね…

やっぱり――
ずっとやられっぱなしは ちょっと悔しいから
今度は私が主導権いただいちゃおうかな♥
ぬぱぁ…♡
見て♪
まんこ♪
犯して♪
ナスくん… 今度は こっちに…♥
溜まってたのまだいっぱいあるよね？
朝からクソ穴オナニーしてたビッチマンコにキンタマのニオイたっぷりしみ込ませてぇ♥
フルフル…
トロ…
フルフル…
トロ…
トロ…

ぬぱぁ…っ
あ…朝からしてたんですか
そうよ マンコだらだら濡らしながら出社してたんだからぁ♥
あは…ナスくん全然気づいてくれないんだもの♥
はぁ
ドキ♡
はぁ
ドキドキ♡
男なんだから…メスマンコのニオイくらい気づいてよぉ♥

ビクン!
ビクン!
ギシギシッ
ずぶ
ずぶぶ…っ
それズルいですよ
課長だって僕のチンポの
ニオイに気づいてなかった
じゃないですか
そーいう人にはすごく
優しいセックスしか
しませんよ
ぬちゅ
くちゅ
くちゅ
ぬちゅ
ヤッ!
いやっ!
あっ いや
イヤぁぁあっ!
びくんっ
びくんっ
ぶるんっ
ぶるんっ
ふるふるっ
してっ 激しく…
口マンコの時みたいに
めちゃめちゃに犯してっ!
ズ…ズ…
ズプ…
『女のくせに』…
はしたなさすぎ
ですよ♪
してっ
してっ
くちゅ…っ
くちゅ…っ
ぎゃうううっ!!
こんな時に女
あつかいなんて…
メスブタマンコって
言ってぇっ!

グスッグスッ
言ってくれないと…
また怒る…からねっ
はっ
はっ
はっ
おっと…それ
だけはさせません
また泣かせるわけに
いかないですもんね
あっ
あっ
あっ
あっ
あぁあっ！
きた…きたぁあっ♥
ハッ
ハッ
ズッ！
ズッ！ズッ！
ザク ザク ザク
課長のメスブタ
マンコ 使い心地…
最高ですよっ
あんっ！ あぁあっ♥
もっと もっとしてっ！
おなか…あぁあっ
揺れて…ねじれて…
とろけるぅっ♥
あぁあっ も…ぅ
コレ以外…らめぇっ♥
ぱちゅ！
ぱちゅ！
ぱちゅ！
ギシッギシッ
あーッ
あーッ
あっ
あっ

でもまさか出社前にケツ穴オナニーしてたなんて
あっ！　あぁあっ！
ごめんね
こんな変態上司で
ごめんなさいっ！
ごめんねって…
ウソはダメですよ課長♪

じゃあ『マンコもクソ穴も丸出しの下着で出社禁止』って言ったら
昔みたいに戻れますか？
無理よぉっ！
もう戻れないぃっ！

あっ　あぁあっ♥
そこ…いいっ！
あぁあっ　らめ…
引っ張ったらぁあっ♥
んひいいいっ♥

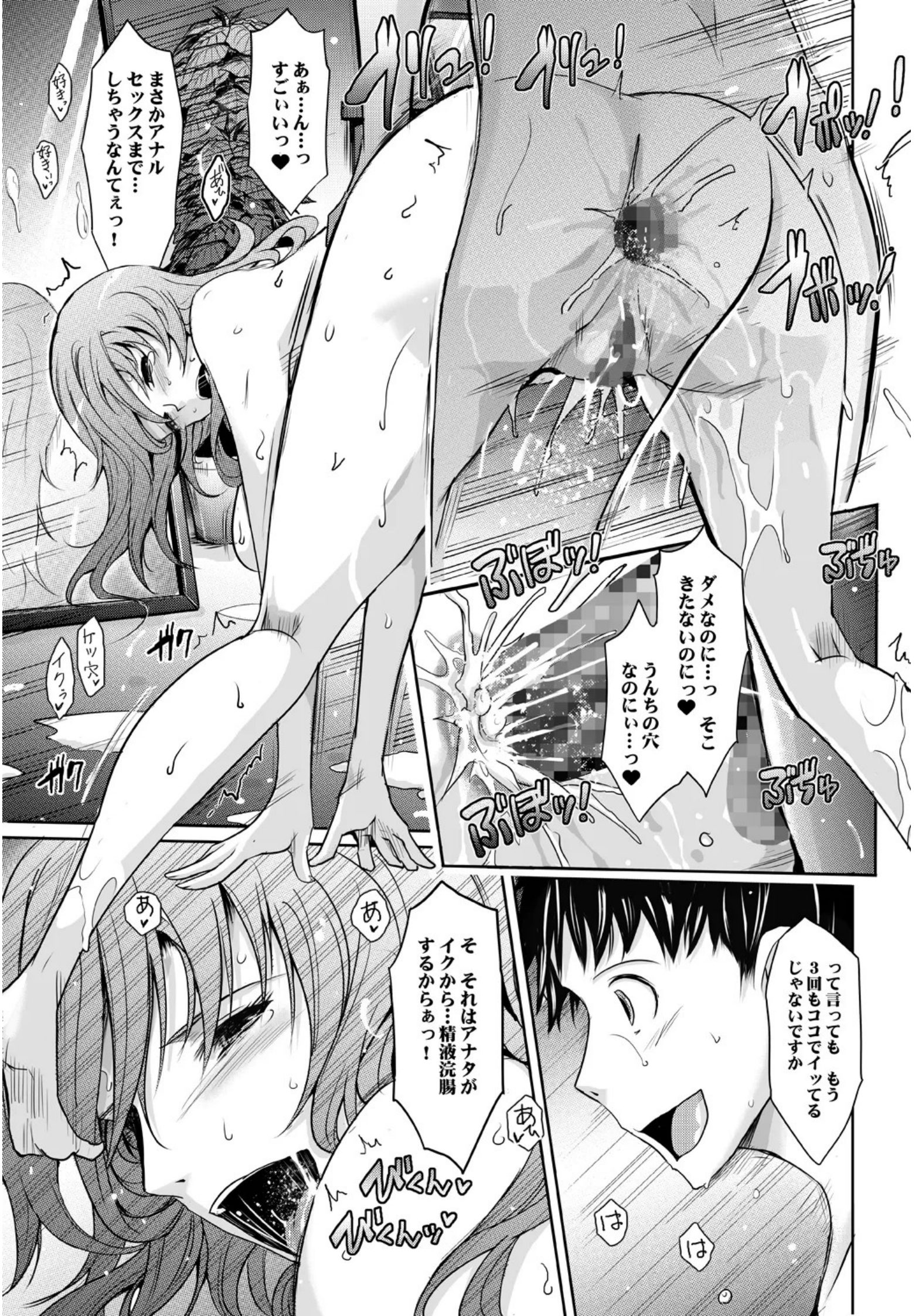
あぁあ ナスくんの指…素敵いっ❤
自分でするのと…全然ちがうぅっ！
もう貴方だけ❤あなただけ好きにしていいからっ❤
マンコもケツ穴もあなたの好きにしてぇっ❤
ぬぽぉ…
いいんですね 会社でエロ下着姿見せてもらって！
ダメ…見るだけなんてダメぇえっ！
嗅いでっ 犯してっ イカせてぇえっ！
あっ！ ぁあっ❤
イクっ！ イクぅうっ！

ドッピュウウッッ!!
あッ♥
ドボッ!
ドボッ!
ドボッ!
あッ♥
あーッ♥
あぁあーッッ♥
ビクン!
ビクン!
ビクン!
ザクザクッ
ザクザク
イクッ♥
イクッ♥
ドプッ
ドプッ
ドプッ
ドプッ
ドプッ
ひっ♥
あぁあっ♥
イク…イクの…
とまらないいいっ!

く…あぁ…
八潮さん…っ
気持ちよくて…
と　とまらないですっ
ゴ
ゴポン♡
ゴポン♡
ゴポン♡
わ…
わたヒ…も…♥
おなか…重い…
ホントにたっぷり…
出してくれたぁ…
結局…主導権…
とられっぱなし…
ホント　ダメね
…私…
ぞくん…
ぞくん…
は～ッ
は～ッ
は～ッ
あぁあ…中出し
うれしい…♥
ナスくんが別の部署に
異動したら…もう…
耐えられないよぉ…♥
ブルル…
ブルル…
じゃあ
もし離れても…
ドロ…
ドロ…
ドロ…
寂しくならない
くらい
えっ!?
えっ!?
ぬるるるう…
あっ…えっ…？
もっと中出し
しますねッ！
あひいっ！
ズチュン!!!

溜めてた精液
まだまだありますから
たっぷり味わってくださいね
ビクン♡
ビクン♡
あ…♡
あ♡
あぁ…は…はい…
あ…♡
グジュッ!
グジュッ!
んひっ あぁあっ!
チンポ…チンポ汁うっ♥
あっ! あっ!
全部…だヒてぇえっ♥
グジュッ!
私 どんどん変態になってるだけじゃない…
幸せすぎて…もう…変態じゃない頃の自分を思い出せなくなってる…っ
あっ♡
あっ♡
あっ♡
あッ♡
ポタ
ポタ
ポタ
私…とんでもない人を…愛しちゃった…♥
はぁ♡
ブリュッ
ブリュッ
あ♡
ブリュッ
はぁ♡

見えますか　八潮さん
あぁあ　見える…見えてる…♥
チンポ…お…お尻に…入ってるぅうっ！
やっ…
らめぇ
だめぇ
グチュッ！
ズンズンッ
ズンッ
グリッ
グリッ♪
んおぃ
んほ♪
んあ♪
エロいニオイでしょ？
課長のお尻いじりまくった指
ネト…ッ
いやぁ　だめ…くさいわ…♥
あむ…んちゅ…っ♥
あ♪
ねちゃ
ねちゃ
ガク
ガク
グチュ♥
グチュ♥
あぁあ…おひりの味…ダメぇ…♥
へぃ
じゃあ　ココに入ってるチンポも　もうしゃぶれないですね♪
やだ…やだぁ！チンポ…くさいチンポ好きぃ…っ♥
グリュ
グリュ！
ガク！


あぁ…ん…っ
すごいいっ♥
まさかアナル
セックスまで…
しちゃうなんてぇっ！
好きぃ
好きぃ
あぁ
ケツマ
イクぅ
ガク
ガク
ダメなのに…っ
きたないのにっ♥
そこ
うんちの穴
なのにぃ…っ♥
ぶぼッ！
ぶぼッ！
ぶぢゃ
ぶぢゃ
ガッ！ガッ！
ガボッ！
ガボッ！
って言っても
もう
3回もココでイッてる
じゃないですか
は
は
あぁ
あぁ
あぁ
そ
それはアナタが
イクから…精液浣腸
するからぁっ！
びくん♥
びくんッ♥

それだけ課長のお尻 気持ちいいから…
く…4回目イきますよっ
パパンッ! パパンッ!
ブッ!
ブリュッ!
ブリュッ!
あっ あぁっ! また…またチンポ浣腸…っ♥
あぁあ…らめぇ♥ クソ穴にチンポのニオイ…っ♥ しみこんでくるぅっ!
パパン! パパン!
ブッ
ブッ
ブッ
ブッ
ベチンッ ベチンッ
あッ♥
あひぃ♥
あッ
あッ
あひッ
ブリュッ!
ボォォォォッ
ドピッ
ドクッ
ドクッ
イク♥
また…♥
あッ
ひッ
あーッ
ガクガク
ガクガク
イクうううッッ!
ビクビク ビクゥッ♥

んは…あぁ…♥
ぼふぼ…っ
あ…っ
やっ
あんっ
ぶぢゅッ!
ビク…
ビク…
あ♥
は…♥
は…♥
はぁ…ぁあ…♥
トロ
オ…ッ♥
サァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァァ
ぬちっ
ぬちっ
ぬちっ
だめよ　ますます
離れられない
まだ足りませんか？
ムニゅ♥
ムニゅ♥
ううん…ニオイの
ことじゃなくて
もっとシンプルなこと
パシャ
パシャ
パシャ
パシャ
それなら異動に
なっても大丈夫
ですね
ふふ　本当に全身
あなたのニオイ
しみ込んだみたい
ふふ　理由は
貴方が考えてみて
はい
はい

言えないわよ
もし貴方が傍にいて
くれなかったら
会社のトイレで排泄
したメスブタくさい
ニオイでイっちゃう姿
ん…
はぁ…♡
はぁ…♡
ぞくん♡ぞくん♡
ドキ♡ドキ♡
見て…♡
見てぇ♡
もわ…。
もわ…
もわ…
貴方に見て
もらえないでしょう？

なーんて…
ね♡
翌日
ぼへぇ～♡
なーんてね♡
アンタ異動どころか
クビになるわよ
仕事しろ。

僕と八潮さん以外、誰もいないオフィス。
つい数時間前まで、この部屋には加齢臭漂うオジサンたちが集まりダラダラと会議をしていた。
「部屋のニオイは課長の発情メスマンコのニオイでかき消されちゃいましたね」
「何言ってるのよ…。コレはあなたのくっさいチンポ汁のニオイでしょう？会社の中でザーメンまみれのショーツを着させて写真撮るなんて…あなたって本当に変態ね…♥」
八潮さんの胸に着せている下着は、連日セックスするたびに精液を染み込ませたもの。彼女は強烈な淫臭を放つそれを毎日のように嗅いで、酔って、発情する。
「下着もつけず、エロマンコにそんなテープ貼っただけで会議に参加してた八潮さんも変態ですよ。だからちゃんと写真に撮って記念に残しておかないと」
「うん…そう…ね…♥」
精液のニオイで思考が濡れているのか、反論することもなく八潮さんは股から愛液を垂らす。
「早く撮って…でないと…もう我慢できないから。はやくチンポパンツのニオイ嗅ぎながらメスブタセックスさせて…♥」
「でも、明日も朝から会議があるんですよねこの部屋…チンポ臭くなりますよ。いいんですね？」
「ええ――もちろんよ…♥」

あぁ…臭いの…もっと嗅がせて…チンポのニオイ…チンカスザーメン姿…もっと見て…写真撮ってぇ…♥」

秘密の変態淫臭プレイを繰り返すうちに八潮さんは精液パンツなしではいられないほどマゾ性癖が覚醒していた。

今や深夜のオフィスをこの姿で徘徊して、写真を撮るどころか、同僚の机の上で股を開いて中出しセックスをねだるほどに。

「ねえ…もっとあるでしょ？　チンカスべっとべとにまぶしたショーツ…洗ってない汚いやつ…欲しいの…♥」

「ありますよ。慌てないで。センズリ精液ぶちまけた八潮さんのパンツ、ちゃんと持ってきてますから」

「あぁあ…何日分の精液なのコレ…？　蒸れたキンタマのニオイもするぅ…はぁ…はぁぁ…オスのニオイ…あぁ…メスマンコ堕ちちゃう…ダメ…こんなのダメぇ…♥」

自ら頭にザーメンパンツをかぶった八潮さんは言葉とは裏腹に喜色をうかべ、ニオイだけで発情――いや、絶頂していた。

「あぁ…この部屋、明日も会議があるのに絶対気付かれちゃう…セクハラしてくるオジサンたちに私のメス穴のニオイが…♥」

「ずっとバレてませんから大丈夫ですよ。もっと、もっと、毎日精液プレイすればいつかはバレるでしょうけど…どうします？そろそろやめましょうか？」

「イヤぁ…もっと…あぁ…もっと…バレるまで…あなたの精液便所にして…♥」

チチ…
きゅっ
――よし
すっ
しゅる
これで…行こっかな♥
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
トロオ…ッ♡
むわ…
トロ…
むわ…
トロ…

やだ すごい
カタログの写真より
ずっとスケベ…
ドキ♥
ぞくん…っ
ぞくん…っ
は♥
あ♥
ドキ♥
ドキ♥
お尻の穴まで
丸見え…♥
彼のチンポのニオイが
しみ込んだこの部屋
私の中に眠っていた
淫乱な血を熱く
させていく
むわ…
でも最近は決算の
繁忙期でセックスは
お預け状態——
溜まり続ける欲求の
はけ口を求めて
こんな事を始めてしまった
は♥
むわ…
とうとう こんなの
着て会社に行くのね
…私
バレたら
どうしよう…
むわ…
ヒクッ♥
ヒクッ
こんなの履いてるって
知ったら さすかのナス
くんもひいちゃうかな
それとも我慢できなくて
おっきなチンポ…
入れてくれるかな♥
トロ…
トロ…

あの夜からメスブタセックスを重ねて
たった一か月でこんな変態になってしまった
互いの変態性癖がどんどん覚醒してもう…止まらない

でも会社では二人ともいつも通りに過ごせている
むしろナスくんは以前よりもさらに真摯に仕事に取り組んでいる
そういう実直な性格にもますます惹かれていく
だからこそ会社が終わってから——

八潮さん…っ 八潮さんのエロマンコのニオイ…っ！
汗ばんだケツ穴のニオイ…最高ですっ！
あぁあ ま まだ…お風呂に入ってから…
ニオイだめぇ…っ♥ずっとマンコ蒸れてたんだからぁっ！
ぶちゅ
みみっ！
ぢゅるっ
ぶちゅ！
ぢゅるっ
ビクッ！
ビクッ！
ビクンッ！

僕も会社でカウパー漏れまくってました
ヌッ ヌッ
どぴゅ どぴゅ
ズルッ!
えうッ
あぁ…チンポぉ… くさいチンポぉ…っ♥
もう限界です そのエロマンコに入れさせてもらえますか
ハッ ハッ
入れて… メスマンコにチンポ交尾してぇ!!
ヌク ヌク
びくん! びくん!
八潮さん すっかり卑猥な言葉 好きになってますね
あぁあんっ♥ 貴方が言わせてるんでしょ…っ
イヤがっても…あぁっ♥ 特訓だって…いつも… いつも…っ!
どぢゅん♥
どぢゅッ!
言わないと…キンタマ精液 マンコ穴にぶちまけてイカせてくれないからぁ…っ!
どぢゅんッ♥
すみません イヤがるフリする八潮さんが可愛いから つい
ち…違…ぁあっ♥ フリなんかじゃ…
あひっ! いいっ! もっと奥まで チンポぉおっ♥
そう いつもこう
イヤがってみても いつの間にか…
ズリュッ! ズリュッ! ズリュリュッ!!

休日でも
鏡につながってる
ところ丸見えですよ
あぁあ
言わないでぇ…
ぐちゅ!
ぐちゅ!
とんでもない
水着を着せられて
似合ってますよ
これで泳ぎに
いきませんか
らめ…だめぇ…
あぁあ…♥
ずちゅっ!
ぐちゅっ!
ついには
こんなコトまで
今の課長
会社の人に見せて
自慢したいですよ
やだぁあ
こんな姿見せるの♥
ナス君に見て
ほしいのぉ…っ♥
ドプッ!
ドプッドプッ
ホントは好き
なんですよね？
ど変態セックス…
大好きですよね？
ビクン!
ビクン!
ちんぽっ
ちんぽおっ
ちが…あぁあっ
あはあぁあ…♥
わたヒ…は…キミが
好きだから
あぁあ こんな
コト…変態セックス
なんてぇ…っ♥
もっと♥
もっとぉっ♥
結局 私はイヤだと
言い切れず
むしろ…彼に変え
られていくことが
心を丸裸にされて
しまうことが——

好きよっ　とっくの昔から…大好きぃっ♥
変態だものっ　私…変態スケベ女だからっ♥
ぶちゅッ
ぶちゅッ
あっ
あっ
ぶッ
ぶぴッ
見てっ　見てぇえっ♥
出社前にクソ穴オナニーしてるのっ！
全部丸出しで感じるのっ♥
見てっ
見てっ
ザク
ザク
ぢゅくッ
ぢちゅッ
ぢちゅッ
ぢくッ
ザク
ザク

どぼっ
どぼっ
ぶッ
ぶぃっ
ぶりゅ
ぬぢゅ
ぬぢゅ
どぢゃ
どぢゃ
イクッ！
イクぅッ！
あぁぁあ
——ッ！
ビクビク
ビクゥッ！

ぽた…
ぽた…
ぽた…
あぁ…怖い
このまま出社したら
本当に…私
どうなってしまうの…
城トータルプランニング
銀行

こうなりました。
ぼぉ〜
ちんぽ〜〜
ぱち
ちんぽ〜〜
ぱち
ぱち
ちんぽ〜〜
ビッ!!
えっ!?
あっハイッ!
八潮さ…
課長!
あの 今日はどうしたんですか?
体調不良ですか?
八潮さん
ナス君 何やったの
いいえ 特には…
ううん 大丈夫 ごめんなさい
今朝の変態オナニーのせいだなんて言えないけどそもそも原因の半分はナス君なんだし『どうしたんですか』っていうのはどうかしら
オイコラ メスブタァ!
日ぇ開けたまま寝てんじゃねーぞ!!
どちら様…?
俺だよ! 背戸口だよ!
顔のカリが無いから分かんなかったわ
どーしたの?
お前らにボコられて凹んだんだよ!
あとカリって言うな! エラって言え!!
セクハラ よっ!!
It's

それはそうと退院したらうちの課のバカ女が異動してやがった！
おかげで決算時期に事務処理を俺がやらなきゃいけねえ！
普通　人事異動は決算終わって半期ごとにするだろ！
バカなのか!?
あー　あの子ねー
確か同じ課の人と今度結婚するのよね
異動はそれを考慮しての事って話よ
市川
バカモーーーッ!!
すすみません…
ハラハラ
旦那になる人が上司とか得意先に怒られてるのを目にしたら
女性のほうが不安になるだろう　っていうお偉方の『配慮』ってやつよ
でもいまさら…って感じもするよね
今までは堂々と叱り飛ばしてたわけじゃん？
上の人間も叱るべきところで遠慮してしまうこともあるし
周囲も変に気を遣うかもしれないし
でも恋人と違って結婚相手となると…今までと違った物の見方になる…って言い分も分かるかも
そっか　難しい判断よね～
まあ理由の中には『結婚退職するなら別の部署に行ってから辞めてくれ』ってトコもあるかもね
上司は部下に辞められると管理職の査定に響くのよ
市川

……っ
ブルブル…
付き合ってたのか
アイツら…
全然
知らなかったぜ…
どーりでアイツに
『エアロビやってんの？
じゃあ　今度の忘年会
レオタードで踊れよ』
『イヤだ？　その身体
見せつけたいから
人前でエロタイツ着て
踊ってんだろぉ？』
『ビッチのくせに清純
ぶってんじゃねえよ』
ったらよぉ！
HAHA HAHA HAHA
とんだピエロさ!!
わらえよ
ヤレヤレだぜ!!
いきなりあの男が
ぶん殴ってきやがった
んだよな！
ありゃ　自分専用の
マンコだったから、
正義の味方ヅラした
ってわけかよ！
アイツら
最低だな！
ゆるさないぞ
ガッ!!
ぼかぁ!
オマエがな！
『女のくせに』
だけでもセクハラなのに
『一人だけさっさと
結婚するエロブタビッチ
マンコのくせに』
たぁ　どーいう了見だ
コラァ！
そこまで
言ってな…
つーか私の
一発芸（ダイオウイカ）じゃ
不満なわけ!?
見ろコラー!
ドガドガドガ
ギャイギャイ
ガゴン
あああああ
ピーポー
ピーポー
ルプランニング
2F
やっと繁忙期
ひと段落したわね
はい
お疲れ様でした

ねえ…
ナスくん
はい
今日
話してたこと…
私たちは直接の
上司・部下だから
彼らのようなケース
じゃないけど
もし私がナスくんを
怒ったら…一緒に仕事
やりづらい？
いえ　全然
実際　今まで何度も
ミスして叱られて
きましたし
野球部の頃も叱られて
ばかりでしたけど
監督や先輩は
尊敬してましたよ
で　でも…こうして付き
合ってからじゃ感じ方も
違うんじゃないかな…って
毎日　貴方のチンポに
おマンコ濡らしてる女に
叱られて…嫌じゃない？
ふるん♥
くにゅ♥くにゅ♥
ふるん♥
ふるん♥
あんっ
はいっ
ピンピンッ
あんっ
あぁっ♥
くにゅ♥
くにゅ♥
あっ
あっ
ぞくん♥
ぞくん♥
フルル…ッ

叱り方が理に適ってますし人格まで否定しないし変な言い方ですけど叱られるたび尊敬度が上がってます
むしろ僕のほうが心配してましたいつもミスばかりするダメ男のチンポなんて見るのも嫌だって思われないか…
ぐぃ…っ
むわ…
むわ…
あんっ
やっ
あっ
お思うわけ…ないわよぉ…❤あぁあ…チンポ…見たい…欲しいいっ！
こんな下着つけてたなんて本当に我慢限界だったんですねスーツの下乳首もクリトリスも勃起させて
ガクガクッ
んあぁっ！そそうよ…メスマンコのニオイ…周りにばれちゃわないかドキドキしてたのっ❤
ぶちゅっ ぶちゅっ
ぢゅく ぢゅく
んあっ
あっ
ぬぅあ…っ
でも——見てみたい気はします

一度本気で叱られたいというか…
いつもの指導的な叱責ではなく激怒してる課長を見たいです
想像つかないんで
ミスしてない人に激怒するなんて無理よ
んっ
んくっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
ちゅくっ
ちゅぷっ
ちゅくっ
それが『特訓』でもですか？
…ふふ　そうね
はぁ
はぁ
どうしてもって言うなら貴方が怒らせてみてよ♥
クスッ♥
ギラッ
言っとくけど　スケベなこと言わせるとか…
もうその程度のセクハラじゃ怒らないからね♪
う・・・
ウラ

えっと
それじゃあ…
実は繁忙期の間
ろくにオナニーもせずに
ザーメンためまくって
チンカスもべっとべとの
まま過ごしてたんです
よ…
へ？
ビクン！ビクン！
むわ
むわ
むわ
ドッキン

決算が終わったら
思いっきり課長の
口の中につっこんで
思う存分チンカスを
こそぎとって
黄ばんでどろどろの
塊になった精液を
排泄してやろうと
思ってたんです
う　うそ…
いくらなんでも
洗ってないなんて…
ぬらぁ…
グボッ！グボッ！
グボッ！
ズボッ
ブビッ♥
んぇぇッ
おえッ
オボッ！オボッ！
んごッ
おごッ
ゴボッ！ゴボッ！
おぇ
んぐッ

むわぁあ
ほんとです
ほら
あぁあ
あ…ぁ…
でも こんな汚いものを突っ込まれるなんて
文字通り肉便器ですし
さすがの課長も怒りますよね？
え…あ…それは
ドクン
キュン
怒らない…怒るどころか…あぁ…
くさい…くさいちんぽ舐めたい…
突っ込まれて口の中めちゃくちゃに犯されて排泄されたい…飲みたい…チンポ汁ほしいい…っ♥
すわ…
すわぁ…っ
あれ この程度じゃ怒らないんですか
お 怒るわけないでしょこんなの 全然…
あ…♡
あ…♡
だめ ここで欲しがっちゃまたいつもどおりちょっとは年上らしいとこ見せなくちゃ…
あ♡

だ…だいたい それって ミスしたわけでも 悪意があるわけでも ないじゃない
はぁ
私以外の人がニオイに 気づいて ナスくんが悪く言われる かもしれないから
はぁ
その…チンカス溜め すぎるのは…ちょっと 問題かも…って… 思う…けど…
はぁ
じわぁ あぁ…っ♥
なるほど その通りですね
じゃあ 洗ってきますね♥
シャワー おかりします
あ…っ
ドッ ドッ ドッ ドッ
あ… だ…
ヤ ヤメ ヤメ!!
ダメ! 絶対ダメ!!
こっ ここまで じらしといて 洗う なんて信じられ ないっ!
ぼおッ!?
ぼおッ ぼおッ ぼおッ
!? !? !?
かっ 課長?

おろおろ
ぐすぐす
コレ…今までで一番ひどいセクハラよっ
確かに『怒らせてみて』って言ったけど　あんなチンポ見せておいて洗うなんて…
ぐすっ
ぐすっ
私も忙しい間ずっと我慢してたの知ってるくせに…
すみません
すみません
また調子にのりすぎました
ばか…
そんなことしたら私だってセクハラ言うんだから…
ぺち…
え
『男のくせに』
男のくせにチンポの使い方　間違えないで
オモチャにしないで…
悲しい気持ちでチンポをしゃぶりたくない
だから怒ったの…
すっ
ぺろっ
ぺろっ
きゅっ

八潮さん…僕が間違っていました もうチンポをオモチャになんてしません
ナス君…
改めて真面目にお願いします このチンポで八潮さんをめちゃめちゃに犯させてください
…うん こちらこそお願いします
ぴと…
ぎゅっ
ムワ…
ムワ…
カチャ
カチャ
ビクン!
ビクン!
ちゅぱっ
ちゅくっ
にちゃ
ちゃぐっ
んくっ♥
んくっ♥
ん…んぅ…♥ あぁ…すごい ニオイ…♥
んちゅっ♥
んちゅ…♥
少し子供っぽいところがあるけど 素直に相手と向き合える実直な人
本当に可愛いのに大人っぽい…
私なんかよりもずっと――
このニオイすべてが愛しい 少しだって逃がしたくない
この手の中 口の中 身体の中に…全部… 欲しい
ん…くっ♥
んぐぅ♥
んっ…んぢゅ…♥
んぅう…っ♥
好きなだけ排泄して欲しいの…っ

じ 実は…八潮さんと出会ってからなんです 一日中勃起して… ニオイも濃くなって…
私の…せい？
もし異動で離れたら絶対こんなに臭くならない… 勃ちもしないですっ！
私も…私も…っ
そんな心を溶かすこと言われたら…離れられるわけない…っ
美味しいの♥ あなたのチンポの全てが好き♥
私だけの… くっさいチンポぉ …っ♥
くぐッ！
うぐううっ!?
ガボボッ!!
!?
くっ!!
ビクビクッ!
くぁ…っ もう我慢できない！

すみませんっ
すみませんっ！
ひ　久しぶりだから…
腰が止まらない…っ！
ハッ！
ハッ！
ザク
ザク
んごっ
んぶうっ！
んぐううっ！
止めないで…
やめないでっ♥
激しく…
使ってえっ♥
ぜぬぽっ
ぜぬぽっ
ぜぬぽっ
ゴボッ！
ゴボッ！
んぉおっ！
タパン！
タパン！
あぁあ　キンタマの音
…ニオイ　感触…
気持ち…いいいっ♥
どぢゅん！
んごっ♥
おぶううっ！
んおっ♥
おぼぉっ！
どぢゅん！
喉の奥に…あぁあ…
チンポ当たってる
ゴリゴリって…
激しいいっ！
ゴリゅっ
ゴリゅっ
ゴリゅっ
ビクビクッ！
八潮さんっ
もう…出る…っ
ゴボッ！
ゴボッ！
ゴボッ！
んぐぢゅるうっ
んぅうっ！
きて…溜りまくった
チンポ袋のせーえきいいっ
喉マンコに…全部…
全部ううっ♥
んぉおっ！

くぁぁぁっ！
んぐっ！
んぼっ！
ビクビク
ビクーウウッ!!
ううんんうう
ううーーーっ♥♥♥
ゴクッ!
ゴボッ!!
ごくんっ
ごくんっ
ビクン♥
ビクン♥
おほぉううっ！
きた　きた…
すごいいいっ♥
今までで一番…濃くて…
臭くて　くさくて
くひゃくて…っ♥
ドピュ
ドピュ
んぐっ！
んぐうぅうっ！
おいヒいい
いいっっ♥
ドピュ
ドピュ

んぐ…っ♥
ゴク…
ゴクッ…
んぅ♥
溶ける…チンポで溶かされるぅ…
また…私…淫乱に…
もっと変態になっちゃう…
ドポッ
ドポッ
ドポッ
ドポッ
んくっ…
んうっ…ごぶっ♥
私の中に溜まってた性欲の塊が
熱い精液に溶かされて
ドポ…
ドポ…
ドポ…
ドロ…
んっ…んぅうっ♥
お…お…はぁ…♥
混ざり合って…
気化して…
ドロ…
あぁあ…身体の中…
アタマの中…二人の
ニオイでいっぱい…
あふれてきちゃったぁぁ…♥
トクン…
トクン…
んく…♥
んく…♥
むわ…
むわ…
ぁ…あぁ…
ナスく…ん…
ヒんぽ…すきぃ…♥
くひゃいのらいすき…ぃ♥
んぐ…♥
んぐ…♥
トク…
むわ…

八潮さん…
イッたんですね
すごいニオイです
甘くて　濃くて
ずっと嗅いで
いたいような…
ゴクッ
ゴクッ
ゴクッ
ぎゅん!
ぎゅん!
ぎゅん!
ぎゅん!
ぎゅん!
んぢゅ…　ん…♥
あ…ぁ…わたヒも…
ずっと…♥
ん…
んく…
さっきまでの
激しさとは対照的な
優しいチンポ愛撫
んっ…
んく…ん…♥
ぐぷっ
うぷっ
ズル…
何分もかけて口の中に
まんべんなくチンカス
ザーメンを塗り込んでいく
ぷはぁ…ぁ…♥
ドロォ…
その余韻に
私はイキ続けていた
あぁ…やら…
もっと…
欲しいのぉ…♥
トクン…
トクン…
トクン…
ボタ
ボタ
ボタ
もっと…中にぃ…♥

腰 抜けちゃいましたね
ちょっと休みましょう
ぎし…っ
あ…大丈夫よ 大丈夫だから… その…
トサッ

安心してください まだ終わりじゃないですから 少し落ち着きましょう
す…っ
むわ…
あ…
むわ…
むわ…
ぎゅむ…っ
ん…ぅ…ん…♥
ん…♪
ゆっくり吸って… 息を吐いて…
大丈夫 落ち着くまで ずっとこうしていますから
う…ん…♥
ん…♪
ウソ… 私 こんなことされて 本当に落ち着いてる…？
んく…♪
ん…♪
あぁ…私もうこの人に 身も心も全部 染められちゃったんだ…

でも――
でもね…

ぬぱぁ…
やっぱり――
ずっとやられっぱなしは ちょっと悔しいから
今度は私が主導権いただいちゃおうかな♥
見て♥
まんこ♥
ナスくん…
今度は こっちに…♥
溜まってたのまだいっぱいあるよね？
犯して♥
朝からクソ穴オナニーしてたビッチマンコにキンタマのニオイたっぷりしみ込ませてぇ♥
フル
フル…
トロ…
トロ…
トロ…
フル
フル…

ぬぱぁ…
あ…朝からしてたんですか
そうよ マンコだらだら濡らしながら出社してたんだからぁ♥
あは…ナスくん全然気づいてくれないんだもの♥
はい
ドキ
はい
ドキドキ
男なんだから…メスマンコのニオイくらい気づいてよぉ♥

ビクン!
ビクン!
ギシギシッ
ずぶ
ずぶぶ…っ
それズルいですよ
課長だって僕のチンポの
ニオイに気づいてなかった
じゃないですか
そーいう人にはすごく
優しいセックスしか
しませんよ
ぬちゅ
くちゅ
くちゅ
ぬちゅ
ヤッ!
!!ヤッ!
あっ いや
イヤぁぁあっ!
びくんっ
びくんっ
ぶるんっ
ぶるんっ
ぶるんっ
してっ 激しく…
口マンコの時みたいに
めちゃめちゃに犯してっ!
ズ…ズ…
ズボ…
『女のくせに』…
はしたなさすぎ
ですよ♪
してっ
してっ
どちゅ…っ
どちゅ…っ
ぎゅうううっ!!
こんな時に女
あつかいなんて…
メスブタマンコって
言ってぇっ!

グズッグズッ
言ってくれないと…
また怒る…からねっ
はっ
はっ
はっ
ハッ
ハッ
おっと…それ
だけはさせません
また泣かせるわけに
いかないですもんね
あっ
あっ
あっ
あひぃ
あっ　あぁあっ！
きた…きたぁあっ♥
あひぃ
ガク　ガク　ガク
ズッ！
ズッ！ズッ！
課長のメスブタ
マンコ　使い心地…
最高ですよっ
あんっ！　あぁあっ♥
もっと　もっとしてっ！
ガギュ！
ガギュ！
おなか…あぁあっ
揺れて…ねじれて…
とろけるぅっ♥
あぁあっ　も…ぅ
コレ以外…らめぇっ♥
ぱちゅ！
ぱちゅ！
ぱちゅ！
あーッ
あーッ
ギシッギシッ
あひっ
あひっ

でもまさか出社前にケツ穴オナニーしてたなんて
あっ！　あぁあっ！
ごめんね
こんな変態上司でごめんなさいっ！
ひんっ
ひっ
あぁ
ぐにぃぃっ
ごめんねって…
ウソはダメですよ課長♪
グポッ！
グギュ！
グギュッ！

じゃあ『マンコもクソ穴も丸出しの下着で出社禁止』って言ったら昔みたいに戻れますか？
はぁ
ひぃ
はレ
ひあ
グギュン！
無理よぉっ！
もう戻れないいっ！
ザク

あぁあっ　らめ…
引っ張ったらぁあっ♥
んひいいいっ♥
グボッ！
ぐにぃぃっ！

あっ　あぁあっ♥
そこ…いいっ！
ぬぷっ！

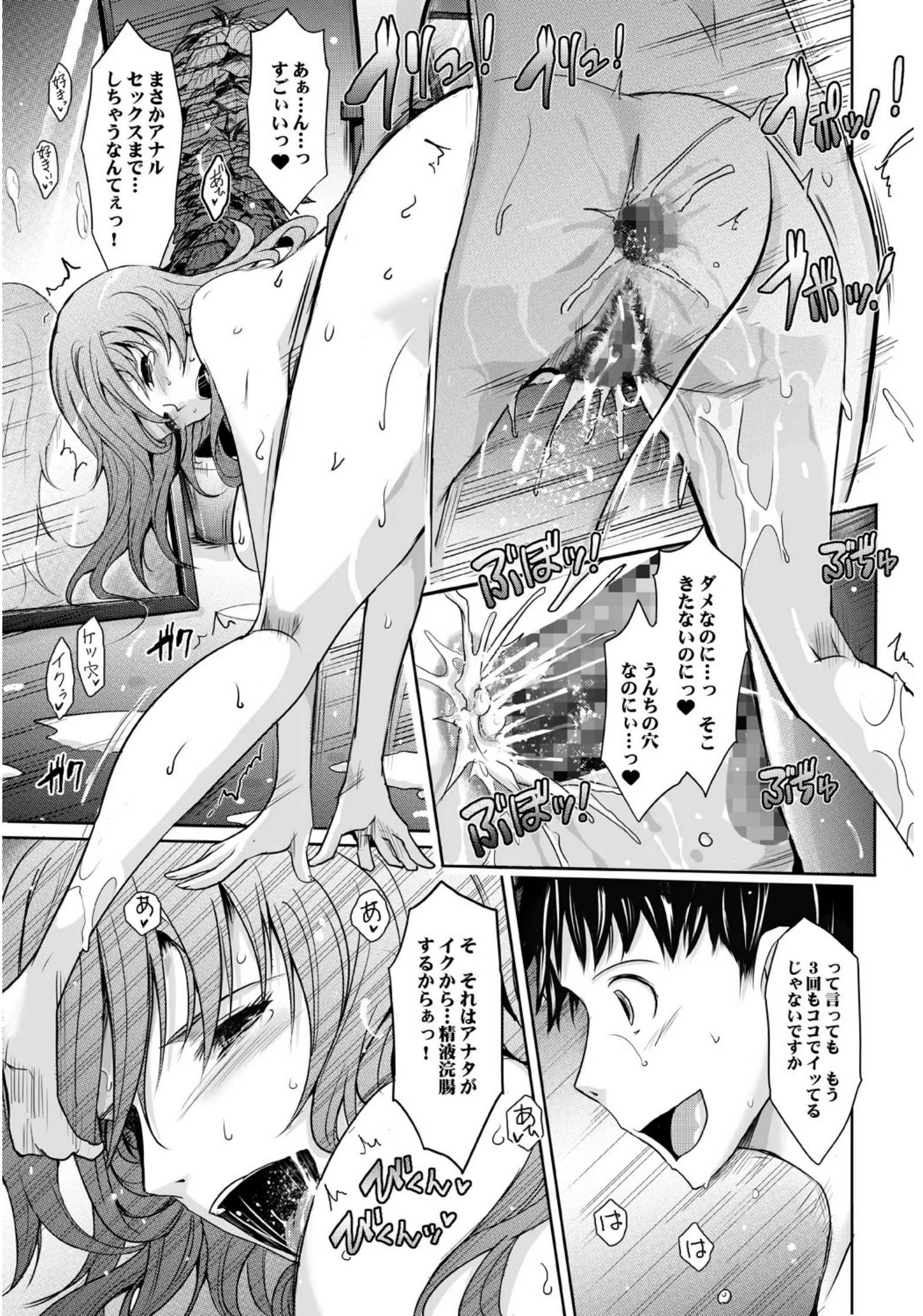
あぁあ ナスくんの指…素敵いっ❤
自分でするのと…全然ちがうぅっ！
もう貴方だけ❤あなただけ好きにしていいからっ❤
マンコもケツ穴もあなたの好きにしてぇっ❤
ぬぽぉ…
いいんですね 会社でエロ下着姿見せてもらって！
ダメ…見るだけなんてダメぇえっ！
嗅いでっ 犯してっ イカせてぇえっ！
あっ！ぁあっ❤
イクっ！イクぅうっ！

ドッピュウウッッ!!
あッ♥
ドボッ!
ドボッ!
ドボッ!
あーッ♥
あッ♥
あぁあーッッ♥♥
ビクン!
ビクン!
ビクン!
ザクザクッ
ザクザク
イクッ♥
イクッ♥
ドブッ
ドブッ
ドブッ
ドブッ
ひっ♥
あぁあっ♥
イク…イクの…
とまらないいいっ!

く…あぁ…
八潮さん…っ
気持ちよくて…
と とまらないですっ
ゴポン♡
ゴポン♡
ゴポン♡
わ…
わたヒ…も…♥
おなか…重い…
ホントにたっぷり…
出してくれたぁ…
結局…主導権…
とられっぱなし…
ホント ダメね
…私…
ぞくん…
ぞくん…
は～ッ
は～ッ
は～ッ
あぁあ…中出し
うれしい…♥
ナスくんが別の部署に
異動したら…もう…
耐えられないよぉ…♥
ブルル…
ブル…
ブルル…
じゃあ
もし離れても…
ドロ…
ドロ…
ドロ…
寂しくならない
くらい
えっ!?
えっ!?
ぬるるるっ…
あっ…えっ…？
もっと中出し
しますねッ！
あひいっ！
ズチュン!!!

溜めてた精液
まだまだありますから
たっぷり味わって
くださいね
ビクン♡
ビクン♡
あ…♡
あ…♡
あぁ…は…はい…
あ…♡
グジュッ!
グジュッ!
んひっ あぁあっ!
チンポ…チンポ汁うっ♥
あっ! あっ!
全部…だヒてぇえっ♥
グジュッ!
私 どんどん変態に
なってるだけじゃない…
幸せすぎて…もう…変態
じゃない頃の自分を
思い出せなくなってる…っ
あっ♡
あっ♡
あっ♡
あッ♡
ポタ
ポタ
ポタ
私…とんでもない人を…
愛しちゃった…♥
あ♡
はぁ♡
はぁ♡
ズリュッ
ズリュッ
ズリュッ

見えますか　八潮さん
あぁあ　見える…
見えてる…♥
チンポ…お…お尻に…
入ってるぅうっ！
グチョッ！
ズムッ
ズムッ
だめぇっ
やぁ…
らめぇ
グチョッ！
グチョッ！
サクン
サクン
グリッ
グリッ♥
グリッ♥
んぉ
んほ
んぁ
エロいニオイ
でしょ？
課長のお尻
いじりまくった指
ネト…ッ
いやぁ　だめ
…くさいわ…♥
あむ…
んちゅ…っ♥
あ
あ
ねちゃ
ねちゃ
じゃあ　ココに入ってる
チンポも　もうしゃぶれ
ないですね♪
やだ…やだぁ！
チンポ…くさいチンポ
好きぃ…っ♥
グリュ
グリュ！
ズズ！
ガク
サワ
サワ
あぁあ…おひりの
味…ダメぇ…♥
へぇ
へぇ
グチュ♥
グチュ♥


ぁぁ…ん…っ
すごいいっ♥
まさかアナル
セックスまで…
しちゃうなんてぇっ！
好きっ
好きっ
あぁん
ケツ穴
イクぅ
ダメなのに…っ
きたないのにっ♥
そこ
うんちの穴
なのにぃ…っ♥
って言っても もう
3回もココでイッてる
じゃないですか
そ それはアナタが
イクから…精液浣腸
するからぁっ！
あぁ
あぁ
あぁ
は
は

それだけ課長のお尻 気持ちいいから…
く…4回目イきますよっ
あっ あぁっ！ また…またチンポ浣腸…っ♥
あぁあ…らめぇ♥ クソ穴にチンポのニオイ…っ♥ しみこんでくるぅっ！
あッ♥
あひぃ♥
イク♥ また…♥
イクうううッッ！

んは…あぁ…♥
ぼふぼ…っ
あんっ
ぶぶッ!
はぁ…ぁあ…♥
トロ〜オ…ッ♥
ふふ　本当に全身あなたのニオイしみ込んだみたい
サァァァァァ
それなら異動になっても大丈夫ですね
パシャ
だめよ　ますます離れられない
ぬちっ
まだ足りませんか？
ムニゃ♥ムニゅ
ううん…ニオイのことじゃなくてもっとシンプルなこと
ふふ　理由は貴方が考えてみて
はい

言えないわよ
もし貴方が傍にいて
くれなかったら
会社のトイレで排泄
したメスブタくさい
ニオイでイっちゃう姿
はぁ…♡
はぁ…♡
ぞくん♡ぞくん♡
ドキ♡ドキ♡
見て…♡
見てぇ♡
もわ…
もわ…
もわ…
貴方に見て
もらえないでしょう？

なーんて…
ね♡

翌日
ぼへぇ～♡
なーんてね♡
なーんてね♡
アンタ異動どころか
クビになるわよ
仕事しろ。

僕と八潮さん以外、誰もいないオフィス。
つい数時間前まで、この部屋には加齢臭漂うオジサンたちが集まりダラダラと会議をしていた。
「部屋のニオイは課長の発情メスマンコのニオイでかき消されちゃいましたね」
「何言ってるのよ…。コレはあなたのくっさいチンポ汁のニオイでしょう？会社の中でザーメンまみれのショーツを着させて写真撮るなんて…あなたって本当に変態ね…♥」
八潮さんの胸に着せている下着は、連日セックスするたびに精液を染み込ませたもの。彼女は強烈な淫臭を放つそれを毎日のように嗅いで、酔って、発情する。
「下着もつけず、エロマンコにそんなテープ貼っただけで会議に参加してた八潮さんも変態ですよ。だからちゃんと写真に撮って記念に残しておかないと」
「うん…そう…ね…♥」
精液のニオイで思考が濡れているのか、反論することもなく八潮さんは股から愛液を垂らす。
「早く撮って…でないと…もう我慢できないから。はやくチンポパンツのニオイ嗅ぎながらメスブタセックスさせて…♥」
「でも、明日も朝から会議があるんですよねこの部屋…チンポ臭くなりますよ。いいんですね？」
「ええ――もちろんよ…♥」

あぁ…臭いの…もっと嗅がせて…チンポのニオイ…チンカスザーメン姿…もっと見て…写真撮ってぇ…♥」
秘密の変態淫臭プレイを繰り返すうちに八潮さんは精液パンツなしではいられないほどマゾ性癖が覚醒していた。
今や深夜のオフィスをこの姿で徘徊して、写真を撮るどころか、同僚の机の上で股を開いて中出しセックスをねだるほどに。
「ねえ…もっとあるでしょ？　チンカスべっとべとにまぶしたショーツ…洗ってない汚いやつ…欲しいの…♥」
「ありますよ。慌てないで。センズリ精液ぶちまけた八潮さんのパンツ、ちゃんと持ってきてますから」
「あぁあ…何日分の精液なのコレ…？　蒸れたキンタマのニオイもするぅ…はぁ…はぁぁ…オスのニオイ…あぁ…メスマンコ堕ちちゃう…ダメ…こんなのダメぇ…♥」
自ら頭にザーメンパンツをかぶった八潮さんは言葉とは裏腹に喜色をうかべ、ニオイだけで発情――いや、絶頂していた。
「あぁ…この部屋、明日も会議があるのに絶対気付かれちゃう…セクハラしてくるオジサンたちに私のメス穴のニオイが…♥」
「ずっとバレてませんから大丈夫ですよ。もっと、もっと、毎日精液プレイすればいつかはバレるでしょうけど…どうします？そろそろやめましょうか？」
「イヤぁ…もっと…あぁ…もっと…バレるまで…あなたの精液便所にして…♥」